

2024年12月2日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 SkyDrive

**SkyDrive、JTB と「空飛ぶクルマ」の事業化に関する連携協定を締結
「空飛ぶクルマ」の観光サービスで、地域活性化へ**

「空飛ぶクルマ」（※1）の開発およびドローン関連サービスを提供する株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤 知浩、以下「SkyDrive」）は、株式会社 JTB（本社：東京品川区 代表取締役 社長執行役員：山北栄二郎、以下「JTB」）と、空飛ぶクルマを活用した新しい観光価値の創出に向けて、本日連携協定を締結したことをお知らせします。将来的には、空飛ぶクルマを活用した観光サービスを、地域企業や自治体に導入していただき、地域活性化に寄与することを目指していきます。

**■連携協定の目的**

SkyDrive は「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、空飛ぶクルマの開発をしています。大阪・関西万博においては、空飛ぶクルマの 2 地点間での運航事業者に選定されています（※2）。また、JTB は「交流創造事業」（※3）を事業ドメインとし、さまざまな人流・物流・商流の創造による交流人口の拡大を通じて、地域や観光事業者の課題を解決するお手伝いをしています。

このたびの連携を機に、SkyDrive が持つ空飛ぶクルマに関する知見やデータと、JTB が持つ商品企画力や全国ネットワークを用いた事業化の検討を開始します。

これにより、訪日インバウンドを含めた国内旅行において、空飛ぶクルマの遊覧や、空を活用した効率的な観光地巡りなど新しい観光体験を創出できると考えています。そして、そのサービスを、地域企業や自治体に活用していただき、地域活性化につなげることを目指します。

■連携協定の内容

1. 空飛ぶクルマの社会実装により、地域のより良いまちづくりへの取り組みを支援いたします。
2. 日本国内における空飛ぶクルマ事業のビジネスモデル構築を目指します。
3. 空飛ぶクルマを活用した高付加価値商品の開発（訪日インバウンド含む）および新しい観光体験の創出を目指します。

■連携協議事項

以下の詳細を検討します。

- (ア) 将来における空飛ぶクルマ事業成立のためのマーケティング
- (イ) 事業成立の可能性のある地域の選定
- (ウ) 空飛ぶクルマの事業モデル構想
- (エ) 自治体の社会受容向上と実装支援
- (オ) 企業の空飛ぶクルマ事業参画へのコンサルティング

■両社の役割

会社名	本検討における役割
SkyDrive	<ul style="list-style-type: none">・空飛ぶクルマの事業企画や事業開発に係る知見およびデータ、情報の提供・機体、運航、整備情報の提供・自治体、企業との接触、情報収集や折衝・ビジネスモデル設計
JTB	<ul style="list-style-type: none">・エリア開発(ポート運営、周辺事業開発含む)、商品企画(遊覧、インバウンド、2地点間移動中心)に向けた収益性および市場性などの検討・戦略的エリア(自治体など)への事業連携・社会受容、ビジネス性向上に向けた自治体、企業などの支援

《株式会社 SkyDrive 概要》

設立	2018年7月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive2020.com/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1

	<p>豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2</p> <p>豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区</p> <p>名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F</p> <p>東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F</p> <p>大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F</p>
子会社	<p>株式会社 Sky Works：静岡県磐田市</p> <p>SkyDrive America, Inc.：500 Carteret Street, Suite D, Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A.</p>
事業内容	<p>「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018年7月に設立し、豊田市を主拠点に「空飛ぶクルマ」の開発、「ドローンサービス」の提供をしています。「空飛ぶクルマ」の開発においては、2020年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しております。「空飛ぶクルマ」は、現在3人乗りの機体を開発中、製造パートナーであるスズキ株式会社と共に、2024年3月よりスズキグループの工場にて製造を開始しました。早ければ2026年に型式証明の取得を目指しております。</p>

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility (AAM) や Urban Air Mobility (UAM) と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和6年4月付）<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001739488.pdf>

※2 関連プレスリリース：<https://skydrive2020.com/archives/18259>

※3 交流創造事業は株式会社 JTB の登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

◀報道関係の方からのお問い合わせ先▶

株式会社 SkyDrive 広報

E-mail：info@skydrive.co.jp

<https://skydrive2020.com/contact>